

5月31日～6月1日に中国・北京で「第1回Global 5G Event」が開催された。本イベントは世界の5G関連団体が共同で開催するもので、第1回はIMT-2020(5G) PG が主催し、「Building 5G Technology Ecosystem」をテーマにプレゼンテーションとパネルディスカッションが行われた。

- 日時： 2016年5月31日～6月1日
- 場所： Friendship Palace, Beijing Friendship Hotel(中国 北京)
- 参加者： 2日間のイベントに政府関係者、通信事業者、製造メーカ、大学、研究機関から約500人の専門家が参加
- 概要
  - 中国工業情報化部(Ministry of Industry and Information Technology (MIIT))の苗部長がオープニングスピーチを行った。
  - 5Gの技術動向、標準化動向、周波数、実証実験、アプリケーションなどに関して最近の研究開発成果が報告された。
  - パーチカルセクターと呼ばれる関連業界の立場で自動車業界からボルボ社が参加、ビジョン2020として5Gが自律走行を実現するキー技術に関するプレゼンテーションを行った。
  - 日本からは、政府代表として総務省の中村裕治新世代移動通信システム推進室長が挨拶を行った他、5GMF会長の吉田進 京都大学 特任教授・名誉教授がキーノートスピーチを行うとともに、5GMF 企画委員会委員長代理のNTTドコモ 中村武宏氏が「5G Deployment in 2020 and Beyond」のプレゼンテーションを行った。また、佐藤事務局長がパネルディスカッションと5Gのネットワークと運用に関するセッションのモデレータを務めた。
  - 次回の第2回Global 5G Eventは、11月9日～10日にイタリア・ローマで5G PPPの主催で開催されることがアナウンスされた。また、2017年度は、春に日本(5GMF)、秋に韓国(5Gフォーラム)で開催することが暫定的に決定した。



会場の様子



5つの団体の代表者集合写真